

# Contents 目次

編集方針	2
対象範囲	
<b>ごあいさつ</b>	3
<b>環境への取り組み</b>	5
環境経営の目標と実績	6
環境マネジメント活動	7
古河電工の環境負荷	8
ゼロエミッション活動	9
地球温暖化防止	10
化学物質管理	11
グリーン活動	12
リサイクルへの取り組み	13
エコデザイン活動	14
環境リスク管理	15
環境会計	17
環境保全データ	18
<b>社会への取り組み</b>	19
社会貢献活動	20
人事・安全・衛生・コンプライアンス	21
環境教育・啓発	23
事業所の取り組み	24
関連会社の取り組み	27
<b>環境経営の歩み</b>	30

## □ 編集方針

本報告書は古河電工グループの2004年度の環境保全活動の実績を報告するものです。2005年度版では、昨年の項目に加え、コンプライアンス活動について盛り込みました。また、環境負荷データについては、古河電工単独およびグループ会社の値を一緒に記載するようにし、グループ全体としての状況が分かるようにしました。さらに活動の具体的事例や非生産拠点の環境負荷量を記載し、当社およびグループの活動がより分かりやすく読めるように努めました。

作成にあたっては、環境省の「環境報告書ガイドライン（2003年度版）」やGRI（Global Reporting Initiative）の「持続可能性報告ガイドライン（2000年版）」を参考にしました。

## □ 報告書対象範囲

### 1. 古河電工の全事業所

千葉事業所 日光事業所 平塚事業所 三重事業所 大阪事業所  
蒲原事業所 品川事業所 横浜研究所

このうち蒲原事業所は2005年3月に閉鎖しましたが、2004年12月まで製造を行っておりその時点までの活動を含めています。

### 2. 関連会社

アクセスケーブル㈱

旭電機㈱

古河物流㈱ 他 35社（社名は7頁に記載）

- 1) 本報告書で「古河電工」あるいは「当社」と記載の場合は、1の範囲を、「古河電工グループ」と記載の場合は、1および2の範囲を表しています。（除く27～29頁）
- 2) 前回報告時に対してグループ企業の変更により対象範囲を変更しています。そのため、古河スカイ㈱関連の環境負荷データに関しては、過去に遡り古河電工データから抜き、古河スカイ㈱として関連会社データに含めました。その他の企業に関しては、2004年度は新規の対象範囲について、それ以前は従来の範囲についてデータを記載しています。

## □ 報告書の対象期間

2004年4月1日～2005年3月31日

一部これまでの経過と2005年度を含んでいます。

### お問い合わせ先

古河電気工業株式会社

安全環境品質統括室

TEL (03)3286-3090 FAX (03)3286-3540

## □ 期中での電力部門の再編・アライアンスについて

古河電工の電力部門は、2005年1月1日に㈱ビスキャスおよび古河インダストリアルケーブルと統合し、それぞれ新生㈱ビスキャスおよび古河電工産業電線㈱が発足しましたが、これらの部門の環境負荷は大きく、年間のデータ集計に及ぼす影響を考慮し、それぞれが所属していた事業所に3月末分まで含めた通年データとしました。

なお、品川事業所も再編により㈱ビスキャス本社に名称が変わっていますが、本報告書では2004年4月時点での名称を用い、古河電工単独の対象範囲に含めました。